



西小だより

山形市立西小学校
令和7年7月3日
校長 小林 聡

先日、西小学区にお住まいの方からお電話をいただきました。

児童の交通マナーが素晴らしいです。この半年くらいは特にです。地域住民としてひいき目で見ているかもしれませんが、車で通勤していても気持ちがいいです。横断歩道で一時停止すると、渡る前に運転者の私に一礼し、渡った後も一礼してくれます。この西小の交通マナーは、ドライバーにもいい影響を与えていると思います。

「**周りの状況**に目が向き、止まってくれたという行為に**思いやり**を感じ、そのお礼や感謝の気持ちを**自分の行動**に表した」のだらうと想像しました。その気持ちと行動がとてもうれしかったですし、言葉にして教えてくださったこともうれしかったです。そして、これは「自分からあいさつする」ことについて改めて考えてみる良い機会だと思いました。

「自分からあいさつする」を考える

毎朝、私は正門のところで子ども達とあいさつを交わしています。「おはようございます」とさわやかに挨拶をしてくれる子、丁寧にお辞儀をしてくれる子、小さな声で会釈をしながら挨拶してくれる子など様々です。一方、自分から挨拶をすることが難しい子も決して少なくありません。

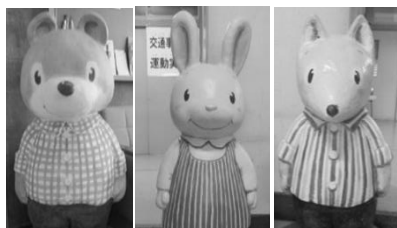
元々、『挨拶』は「一挨拶」（いちあいいっさつ）という、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深さを試す言葉に由来していて、『挨拶』には「押し開く」「近づく」、『挨拶』には「迫る」「近づく」という意味があるそうです。つまり、「お互いの心を開いて、相手の心に近づく」ということです。また、「おはよう」には「お早くからご苦労様でございます」という朝から働く人をねぎらう意味が、「こんにちは」には「今日のご機嫌いかがですか」とお昼に出会った人の体調や心情を気遣う意味が、「こんばんは」には「今晚は、いい晩ですね」と相手の心に近づきたいという意味が、それぞれ込められているそうです。

そう考えると、たった一言の挨拶は、相手に対する「思いやり」と捉えることができそうです。「思いやり」は「思い」を「やる」ことだとも言いますから、やはり大事なものは相手に対して「**気持ち**」や「**心**」を**自分から届ける**ことなのだらうと思います。前述の方がわざわざ電話で伝えてくださったのは、子どもたちの「思いやり」によって「心が動かされたから」なのではないでしょうか。

大人から挨拶をして子どもが元気よく返すのもいいですが、子ども達は、一人一人が未来の暮らしを創る大事な担い手です。ぜひ「**自分から挨拶をする子ども**」に育ててほしいと願っています。「受け身」から「主体的」な姿勢に成長する第一歩としても、「自分から挨拶する」ことの意義は大きいものだと思えます。

わたしたち大人は、子どもから挨拶をしたとき、その子の**目を見てにこやかに**返してあげたいものです。挨拶を交わす心地よさが、子どもの自立を支えます。すでに、相手に希望や勇気、元気を与えることが自分の喜びになっている子もいるでしょう。

家庭に地域に学校に、「子ども達の挨拶」と「思いやりの心」が一層広がるよう、にこやかに応援していきましょう。



自己新記録を目指して 力を尽くす

～山形市小学校陸上運動記録会～



6月3日(火)あかねヶ丘陸上競技場で山形市小学校陸上運動記録会が開かれました。6年生の中から、校内選考会を経て16名が選手として出場しました。

当日朝の壮行式は、全校生の、特に6年生の大応援が体育館中に響き渡りました。仲間の声援を受けた選手の顔が一段と引き締まる中、選手を代表してS.Kくんが「みんなの応援が力になりました。自己ベスト目指して全力でがんばります」と力強く話しました。途中から雨が降り出す中、最後まで全力で走り、跳ぶ姿、仲間を精一杯応援する姿に大きな成長と頼もしさを感じました。これまでいただいた多くのみなさんのご協力とご声援に、心より感謝申し上げます。



生き物が楽しくくらす自然に おじゃましてきました

山形市少年自然の家で4年生は日帰り、5年生は1泊2日で体験学習を行いました。自分たちで決めたスローガンを意識して、仲間と熱心に話し合ったり、協力して活動したりする姿がたくさん見られました。

5年生の入所式で所員の方からいただいた言葉が印象的です。「この自然の中では、動物や植物が毎日楽しくくらしています。私たち人間はそこにおじゃまをして活動をさせてもらっています。」

火をおこして炊飯すること、地図を頼りに山を歩き回ること、火を焚いてキャンプファイヤーを楽しむこと、……どれも自然の中でくらす生物に思いをよせ、人間が勝手に行ってしまうこと

だと改めて感じました。便利で何不自由なくくらししているわたしたちが忘れてしまいそうな大事なことを、体で感じる時間でした。そして、子ども達の



姿を見て、やはり人間はちょっと不便で不自由な時こそ、知恵を出し、成長するものだと思います。子どもの成長のために大人が心がけることは、「整えすぎないこと」。困難な道でも歩いていける知恵、協力心、たくましさこれからも大事にしていきたいと思います。



電車でGo! 山寺たんけん

6月26日(木)はバスや電車を使い継ぎ、初夏の山寺に出かけた2年生校外学習。グループ活動や学年集会を通して事前学習を進め、それぞれ山寺の『すてき』探しに向けて、楽しみをたくさん抱いて出発しました。

実行委員の子を中心に進めた出発式・到着式や散策の行動にも普段の行動がよく表れ、爽やかな挨拶や会話のやりとりに、出会った方からお褒めの言葉をいただきました。途中、猿の親子に遭遇したり、自分で買った力こんにゃくを味わったりしながら、最後まで本当によくがんばりました。この日の一つ一つの「体験」が、これからの成長につながると思います。

